



▲「息吹南山義民喜四郎伝」



チーム息吹&春待ち演芸会 ジョイントチャリティー公演

東日本大震災で被災された方々を支援するためのチャリティー公演が4月16日に季の郷湯ら里で開かれ、220名が来場されました。はじめに春待ち演芸会で歌や舞踊などが披露され、次に南会津町の小中学生と高校生で構成されたチーム息吹による「息吹南山義民喜四郎伝」が公演されました。迫力と感動の演技に来場者から大きな拍手が送られました。この日寄せられた義援金は241,720円で福島民報新聞社と福島民友新聞社を通じ被災者への支援に充てられます。



▲春待ち演芸会・NPO法人只見ぶなの木倶楽部が主催

ブナセンター特別展示 絶滅危惧種ユビソヤナギのすべて

現在、ブナセンターでは「絶滅危惧種ユビソヤナギのすべて」と題し特別展示を6月19日まで行なっています。展示室にはユビソヤナギの現物があるほか、パネルや写真により国内最大の自生地について、その全貌を紹介しています。また、森林官の平田美紗子さんの描いた「森のイラスト・プレ原画展」も楽しむことができます。ぜひご来館ください。



▲特別展示
「絶滅危惧種ユビソヤナギのすべて」



▲「森のイラスト・プレ原画展」

新 明和保育所入所式 しい入所児をみんなでお祝い

町内の各保育所で4月5日に入所式が行われました。明和保育所では9名のお友だちが新たに入所、全保育所児41名の入所式となりました。式では新しい入所児をみんなでお祝いするとともに、一つ大きな組になったことを喜び合いました。また、式の後には全職員による寸劇が行われ、楽しく過ごしました。今年度の入所児童数は只見保育所では44名、朝日保育所では47名となっています。



▲ 入所児と保護者の皆さん（明和保育所）

国 ちょボラごみ拾い 道や県道をきれいに

朝日地区センター運営委員会などが主催し、4月24日に行われた、ちょボラごみ拾いには約100名が参加、亀岡地区から楢戸地区までの国道や県道沿いのごみを拾う清掃作業を行いました。参加者は空き缶や空き箱、ペットボトルなどのごみを分別しながら拾いました。集められたごみの量は燃えるごみが34袋、燃えないごみが12袋でした。また、震災で避難されている方も1名参加されました。



▲ ボイ捨てがなくなることを願いごみを拾う参加者

納 只見町納税貯蓄組合連合会総会 税意識の高揚を図る



▲ あいさつをする菅家一徳納税貯蓄組合連合会会長

只見町納税貯蓄組合連合会総会が4月15日に明和地区センターで開かれ、33名の組合長が出席しました。議事では平成22年度事業報告と歳入歳出決算について、また、平成23年度事業計画や予算についての説明が町担当職員からあり、すべての議案が承認されました。新年度も納税者の意識高揚を図ることや納期内納付の推進などが行われます。

火 春の防火パレード の用心をお願いします



▲ 保育所児に風船を手渡す消防団員

晴天の4月15日、春の防火パレードが行われ、消防団員16名と婦人消防隊2名などが参加、2班に分かれ消防ポンプ車などで町内全域をパレードし、火の用心を呼びかけました。途中、朝日保育所では、はっぴ姿のかわいらしい保育所児の前で広域消防只見出張所長があいさつをし、消防団員らが防火を呼びかける風船を一人一人に手渡しました。